

平成30年4月15日執行
千葉県議会議員補欠選挙

選挙公報

山武市選挙区
千葉県選挙管理委員会

地方公共団体の責務

住民が安心して暮らせる住環境を整え、半永久的に続く幸せと豊かさで満ち足りた日常を形成する。

広域自治体=都道府県 広域自治体(都道府県)の役割
地域だけでは解決できない課題や事務を、国と連携して取り組む。



基礎自治体=市町村
基礎自治体(市町村)の役割

住民の日常生活に密接に関わり、地域の事務を総合的に行う。

①人口減少対策

山武市では合併後12年で8千人もの人口が失われました。この急激な人口減少を放置すれば、地域全体の衰退に繋がります。だからと言って、ただ思いつきや小手先の施策を打ってみても、時間と税金の無駄遣いにしかなりません。なぜ山武市が隣接自治体と比較しても顕著な人口減少に見舞われているのか、県内他地域のデータなども検証し、科学的アプローチで徹底的に原因を追究し、県と新市長と共に有効な施策を策定します。

②さんむ医療センターの持続可能性確保

山武市、東金市、九十九里町、芝山町による一部事務組合によって運営されていた成東病院は、現在では山武市が単独で設立した「独立行政法人さんむ医療センター」となり、毎年3億数千万円が山武市から同院に拠出されています。しかしながら、慢性的な医療人材不足に加え、人口減少により経営の基盤となる患者数の増加が見込めなければ、遠くない将来、病院経営に赤信号が灯る可能性は否定できません。市民にとって重要な地域の中核医療機関を持続的に維持していくため、山武市単独から県と連携する体制への再構築が必要です。

昭和45年2月21日生まれ(48才)

和光大学経済学部経済学科 卒業

インターネットニュース「山武ジャーナル」編集長



無所属

鈴木まさき

3つの基本

「聞く」「動く」「伝える」

机上論よりも対話と行動から

当たり前のことですが、行動することが何よりも大切です。机の上であれこれ考え、検討することも大切ですが、積極的に行動することが結果に結びつきます。職種や立場をこえ多くの方と対話を重ね、これからの地域の方向性を皆さんと共に考え、より良いまちづくりを目指します。



子供たちの未来を
はぐくむまちづくり



災害に強い
まちづくり



中小企業振興の
推進されたまちづくり



未来をまもる。
未来をつくる。



高齢者・障害者に
やさしいまちづくり



安心・安全な生活環境の
整ったまちづくり



環境の保全に
配慮されたまちづくり

- 昭和44年1月20日生まれ (49歳)
- 家族 妻、息子8歳
- 旧松尾町立松尾小、中学校卒(現山武市立)
- 千葉県立八街高等学校卒
- 千葉県議会議員 阿井伸也秘書
- 山武市議会議員3期当選

小野崎まさき
プロフィール

略歴

自民党推薦



小野崎まさき

千葉県議会議員補欠選挙

(山武市選挙区)

投票日

4月15日 (日)

投票時間 午前7時～午後8時

期日前投票・不在者投票は、4月14日(土)までの毎日、原則午前8時30分から午後8時までできます。詳しくは山武市選挙管理委員会までお問い合わせください。